

2022年1月20日

2022年 電波伝搬調査

横浜市アマチュア無線非常通信協力会

1. 実施内容

(ア) 日 時 : 令和4年12月16日(金) 10:00~12:00

(イ) 周波数 : 145.14MHz/438.14MHz/1295.14MHz

(ウ) 実施要領:

- ① 市役所局より430MHzを連絡用と使用し、430MHz帯、144MHz帯、1200MHz帯の順で区役所局を順次呼び出しました。
- ② 交信内容は信号の了解度、強度の相互に交換をするほか、区役所局は交信をしたオペレータのコールサインを通知しました。
- ③ 各区役所局は市役所局との交信のほか、他の区役所局が市役所局と交信しているときに受信した信号の了解度、強度の状況を記録しました。
- ④ コールサイン 市役所局 : J R 1 Y W C
各区役所局 : 各区役所局に割り当てのコールサイン

2. 実施結果

(ア) 全般

初めて新庁舎の設備を使用して、全区と交信できた。

①430MHz、144MHzは各区と交信できた。

②1200MHzは交信できなかった支部があった。

③旧庁舎との比較

- ・430MHzでは各区との伝搬状況の傾向は変わらない。
- ・144MHzは各区とも伝搬状況の傾向は変わらない。信号は比較的良かった。
- ・1200MHzは各区とも伝搬状況の傾向は変わらない。信号は若干良くなった。

(イ)無線機の状況

各区役所局の無線機の状況はおおむね良好であった。報告から以下の不具合と想定される不具合があった。

①無線機が故障(修理中)のため、使用できなかった。(南区、保土ヶ谷区)

②マイクのコネクタ破損(修理不能)のためマイクの交換要望があった(瀬谷区)

②アンテナ、ケーブルの劣化があった。

- ・アンテナのFRPロッド塗装傷み激しくかなり紫外線灼けしており、あと2年くらいが限界と思われる。(鶴見区)
- ・ケーブルのロスが多く1200MHz帯では使用できない。(西区)
- ・SWRの値が高くアンテナ、またはケーブルの不具合が予想され、調査し、対処が必要である。(青葉区)

(ウ)平日の調査

平日にもかかわらず全区参加して調査ができた。

- ① 開設場所が区役所の都合で、平日、執務室での対応不可のため、これまで利用したことのない第一会議室の接栓へ無線機を接続、144/430はDuplexer接続でSWR

が高すぎるため外して運用、そのため準備に手間取った。(港北区)

②430MHz で他局の QRM(混信)のため、データーの取得に支障があった。

(泉区、戸塚区、青葉区、栄区)

3. 所見

(ア) 平日の日程設定にかかわらず、全支部が調査に参加でき、データーの取得が出来た。区役所の業務の都合、無線機の設置場所による弊害があった。

(イ) 故障した無線機の修理対応は市役所のバックアップが必要である。

(ウ) アンテナの経年劣化対策とケーブルの敷設工事は準備と費用が掛かるので市役所、区役所に働きかけ、調査し、対応を検討してもらう必要がある。

(エ) 無線機の状態確認をするために、各区に SWR メータの要望をする。

候補：ダイヤモンド SX-1100

(オ) 1200MHz 帯の作業では支部から市役所への呼び出し作業をやらなかった等、今後の作業に改善の余地があった。

以上